



THE ROTARY CLUB OF NAGOYA OSU  
名古屋大須ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

<本年度会長方針>

大きな和を築こう

No.1187

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル  
会長 鬼頭茂成 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F  
幹事 岡村隆徳 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008  
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org



第1394回例会

家族月間	平成24年
12月6日(木)	
年次総会	
於名古屋	
東急ホテル	
会員	64名
出席計算数	60名
出席率	80.00%
前々回出席率	100.00%
60名中	48名出席



例会プログラム

- 米山記念奨学生挨拶
- 受入青少年交換学生挨拶
- バナー披露
- チャリティーラン賞状披露
- 大原新世代奉仕委員長
- 愛知高校土曜講座
- 12月15日(土)留学生の発表
- 年次総会
- 第1号議案
- 第2号議案
- 第3号議案

「ロタリーソング」

- 「君が代」「四つのテスト」
- 指揮者 丹下 富博
- ピアノ伴奏 富板 玲子

ゲスト

- 米山記念奨学生 周 珪
- 受入青少年交換学生
- ジョジーナ・グレイス・パステル
- 受入青少年交換学生
- キャサリン・ワームス

ニコボックス

今日の年次総会よろしくお願ひします。鬼頭 茂成  
ゴルフ部会の皆様 昨日はお疲れ様でした。岡村 隆徳  
久しぶりに麻雀大会で優勝できました。大三元パンザイ。荻葉 賢二  
大須観音展が始まりました。是非ご覧ください。岡部 快圓  
11月30日にケイリーが岡村さん宅に移動し、妻と2人の生活が戻りました。高木 政義

20日家族忘年会に会員、家族、又ゲストの方で全員で115名の出席となり、誠にありがとうございました。来年は上達する様に頑張ります。宜しくお願いします。林 順治  
岡部さんありがとうございました。結婚記念日です。横井 衛  
誕生月です。春日井和良 忍  
誕生月です。厄年の42才になりました。白戸 泉  
誕生月です。メッセ・ジルの威力に負けました。武藤恵美子  
家内の誕生月です。渡辺 観永  
妻の誕生月です。尾上 昇

会長挨拶

みなさんこんにちは。今日は年次総会の例会です。名古屋大須口



ロータリークラブにとって、活動の指針を決める大事な例会です。議事の進行に皆様のご協力をよろしくお願ひします。

今日は第9のことを話します。第9と言うとベートーヴェン作曲交響曲第9番ということで、ベートーヴェンの第9番目の交響曲だと皆さんはすぐ分かると思います。正式な名称は「喜劇交響曲」が、正式な名称は「喜劇交響曲」か。正式には「シンラー作 頌歌(歓喜に寄す)」を終末合唱にした、大管弦楽、四声の独唱、四声の合唱のために作曲され、プロイセン王フリードリヒ・ヴィルヘルム三世陛下に最も深甚な畏敬をもって、ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェンによって奉呈された交響曲「Op.125」というものです。何が正式かといいますが、この曲はベートーヴェンの直筆譜が残っています。これにそう書いてあります。ベートーヴェンが書いたわけでありまして、これが正式の曲名です。当時は自分の曲に番号を付けるという習慣がなかった訳でありまして、ベートーヴェン死後、番号が付けられ現在に至っています。簡単に第9とまで言われるほど世界中で認知されました。このプロイセン国王に献呈された直筆譜は、現在ベルリン国立図書館で所蔵展示してありますが、これが実はユネスコ世界記録遺産に指定されています。音楽作品としてはこのベートーヴェンの第9交響曲が初めての指定でした。

出来上がった当時の評判はどうだったかといいますが、今とは全く違い、とまどいをもって受け止められた、さらに言うなら不評であった、と言つたことです。当時ベートーヴェンは高名な作曲家という地位でした。そのベートーヴェンにロンドンのフィルハーモニー協会が新しい交響曲の作曲を依頼しました。それを受けて出来上がったのがこの第9です。何が不評だったかといいますが、1825年3月21日のロンドンでの初演の状況を見ると分かります。



1時間を越える曲の長さが不評だったのです。ロンドンのフィルハーモニー協会では依頼した期日を2年も遅れて届いた曲が、何とドイツ語の歌詞の合唱付きだったので。演奏する為には合唱団が必要になります。

また当時の音楽界の公用語はイタリア語だったので。オペラも宗教曲もラテン語なり、イタリア語だったのでですね。それで、ロンドンでは何と、この第9の歌詞をイタリア語に翻訳して演奏したと言つのがロンドン初演でした。

しかし、その後、この大変な曲を演奏しようと各地で音楽家が努力します。それは、メンデルスゾーンや、ワーグナー、リストの功績が大きかったようであります。「清聴ありがとうございました」

**年次総会**

**第一号議案**

2014～2015年度会長・幹事 承認されました。

14～15年度会長 高木政義さん



14～15年度幹事 大原敏正さん



**第二号議案**

2013～2014年度役員理事 承認されました。

会長(役員) 木村 光徳

副会長(役員) 照井 栞

幹事(役員) 渡辺 観永

会計(役員) 杉本 英夫

S A A (役員) 日比野重正

会長エレクト(役員) 高木 政義

真前会長(役員) 鬼頭 茂成

副幹事(理事) 大原 敏正

クラブ奉仕委員長(理事)

親睦活動委員長(理事) 岡村 隆徳

広報委員長(理事) 近藤 明美

小澤 幸男

会員組織委員長(理事) 加藤巴千彦

職業奉仕委員長(理事) 春日井和良

社会奉仕委員長(理事) 丹下 富博

新世代奉仕委員長(理事) 林 順治

国際奉仕委員長(理事) 柴崎 正将

R財団・米山奨学委員長(理事) 吉田 憲一

30周年実行委員長(理事) 堀江 英弥

**第三号議案**

クラブ細則の改定 承認されました。

**米山記念奨学生挨拶**

周 珽



こんにちは、米山奨学生の周いです。みなさんはお元気ですか。もう12月に入りましたね、新しい年が待ち遠しいです。さて、この間京都に紅葉を見に行ってきました。アメリカで留学していた時のシンガポールの友達が、仕事の休暇で日本に遊びに来たので、彼に会いに行きました。



そつえば、留学で作ったネットワークは、いろんなところに生きている気がします。香港に行つた時に、向こつた友達と飲茶しながら、お互いの近況や思い出の話を交わしていました。また、東京に行つた時も、東大の友達に大学を見学につれてもらつたり、渋谷でご飯を一緒に食べたりしました。そして今度は、東京の友達が名古屋に遊びに来た時に、私がガイドブックでおいしい味噌カツの店を探して一緒に行つたり、名古屋城を案内したりしました。このように、普段ではあまり感じない世界のあつちこつちにあるネットワークは、実際には現地に行つた時に生きていると思います。私が5年間留学して得た物は、このような世界でのネットワークがあると思います。時間や空間を制限なしに友達を繋いでくれると思います。今でも、いろんな国に行つて現地の友達と会つのはとても楽しみにしています。また、これも、最近卒業研究で分かつてきた、ロータリークラブの良さについて、親睦と奉仕を通じて世界や日本でのネットワークを大切にしていくことだと思ひました。

受入青少年交換学生挨拶

ジョジナ・グレース・パスケル

(次号以降に掲載致します。)



受入青少年交換学生挨拶

キャサリン・ワームス



先月はとても忙しかった。でもとても楽しかったです。私は毎週、渡辺さんのお寺に茶道と生け花をしに行きます。今そのお寺は私の大きな楽しみです。お花はとてもきれいで楽しいです。茶道は日本の文化でとてもおもしろいです。先生も本当に親切です。私は色々な生徒としゃべります。留学生の旅行がありました。本当に楽しかったです。たくさんのお友達ができました。広島、大阪、奈良と京都に行きました。

広島で原爆ドームと資料館に行きました。原爆は一度としてはいけないと思いましたが。

奈良の東大寺はとてもきれいでした。大仏の鼻に入りました。おもしろかったです。鹿はかわいいですがときどき恐いです。

清水寺は本当にすてきでした。木の葉が赤くなっていました。空はとても青かったです。森林はきれいで気持ちよかったです。

金閣寺も面白かったです。お寺が本当に金色でしたからびっくりしました。私は池と庭を見ました。とてもきれいと思いました。バスの中も楽しかったです。私はドライブが好きです。

ジーナとフランスからの留学生と東山公園に行きました。動物をみたりボートに乗ったりしました。ちょっと遊びすぎました。

先週ホストファミリーが変わりました。今、岡村さんの家に住んでいます。とても楽しい毎日です。お世話になります。よろしくお願ひします。以上です。ありがとうございます。

**チャリティラン賞状披露**

職業奉仕委員長 丹下 高博

11月10日(日)名城公園にて開催されました「YMCAチャリティラン」にて、我が名古屋大須RC「チームひまわり」が、19位でゴールしました。見事に大会賞

を受賞し、賞状、メダルが贈られました。ランナーの皆さん、本当にお疲れ様でした。素晴らしいです。



**バナー披露**

東京米山ロータリークラブ

浅野 彰



**愛知高校土曜講座**

12月15日(土)留学生の発表

新世代奉仕委員長 大原 敏正

**開催主旨**

今年度来日留学生も日本での生活に慣れ、日本語にも多少なじみ、多くの日本事情を学び体験しました。そこで下記のテーマで留学生が発表を行い、より積極的な日本語と日本語の更なる習熟を目的とします。

また新世代の人達や私達自身が日本の良さに気付く機会とします。

**テーマ**

「外国人から見た日本の良さ」

**「土曜講座」**

愛知高校では平成14年度から学校5日制と、新学習指導要領を受け、休日となった土曜日の活用の一貫として様々な講師を招き、学生や市民の方達を対象とした講座を開設し、開かれた学校作りに取り組んでいます。

これまでに宇宙飛行士の毛利



衛さん、数学者のピーター・フランクさんなどが演者をつとめました。

**開催日時**

平成24年12月15日(土)

午前10時~12時

**開催場所**

愛知高等学校

ダルマチャクラホール

千種区光が丘2丁目11・41

(052)721-1521

**口演者**

当地区に今年度来日した留学生10名、愛知高等学校外国人講師数名

**受講者**

事前受講希望をした愛知高等学校生徒ならびに一般市民約1000名

**口演補助**

当地区ROTEX有志の皆さん



**卓話** 11月29日卓話(続き)  
「原子力の安全と国際機関」

独立行政法人原子力安全基盤機構理事長特別補佐  
経済協力開発機構原子力機関  
元事務次長(安全・規制担当)  
下村 和生さん

**国際枠組み・国際機関の設立**

国際連合の専門機関として1957年に設立された国際原子力機関(IAEA、本部はウィーン)は、原子力の平和利用に関して、核物質の査察・管理、安全確保とともに国際協力を推進するセンターとして機能してきた。欧州においては、東西冷戦の中、西側の国際機関として、欧州原子力共同体(EURATOM)・経済協力開発機構原子力機関(OECD/NEA、本部はパリ)の前身である欧州原子力機関(ENEA)が、それぞれ1957年に設立された。これより1957年に設立された。欧州をメインの舞台とした東西冷戦は、1989年のベルリンの壁の崩壊、1991年のソ連邦の解体により終息したが、近年においては以下に述べる新たなグローバルな課題に直面しており、国際枠組み、国際機関の役割がより重要となっている。

1. 核兵器等の拡散の拡大(インド、パキスタン等の核兵器開発、ベルリンの壁の崩壊・旧ソ連邦解体など)

- 2 原発における重大事故、安全確保への懸念米国スリーマイル島原発事故：1979年、チェルノビル原発事故：1986年、東電福島第一原発事故：2011年
- 3 各種テロ攻撃の脅威の増大米国NY貿易センタービルへの攻撃：2001年など

1970年3月に発効した核兵器不拡散条約（NPT）は、米・ソ・英・仏・中の5カ国を核兵器の保有国として公認する一方、他の国での核兵器開発等を禁じるものである。しかしながらその後、インド、パキスタンが核実験を行うなど、核拡散への懸念が継続し、現在も北朝鮮の核実験、イランの核兵器開発疑惑などが国際的に重大な懸念となつていく。

その他、国連安全保障理事会決議等による安全保障輸出レジームの取り組みの強化は、核不拡散防止とともに核によるテロ防止の観点からも重要であり、我が国では、外国為替及び外国貿易法並びに関連政省令等により規制が行われている。核によるテロリズムの防止に関する国連条約は、2005年に採択、2007年に発効、我



が国も2007年に国内法を整備して批准している。

**原子力の安全・規制に関する国際的な動き**

1986年4月のチェルノビル原発事故は、事故による放射性物質が国境を越えて重大な影響を及ぼし、世界各国を震撼させた。その教訓・対策として、各種条約（原子力事故の早期通報及び援助条約、原子力の安全に関する条約など）の発効、国際安全原則・基準等の整備・強化が各国の政府関係者及び専門家により進められてきた。この動きは、ベルリンの壁の崩壊、ソ連邦の解体により加速され、先進7カ国グループ（G7）及びOECD加盟国24カ国（当時：G24）を中心に、旧ソ連製原子力発電所の安全性評価・対策・支援が国際枠組みを利用して精力的に行われた。小生も、IAEA（ウィーン）及び欧州委員会（ブラッセル）に滞在時（1993-1997年）、ロシア、ウクライナ、カザフスタン、並びに東欧諸国の原子力施設に対する国際安全評価ミッションに何度も参加するとともに、経済協力開発機構原子力機関（OECD/NEA）に滞在時（パリ、2000-2005年）に、原子力及び放射線安全に関する各種国際会議等の主催、国際会議等への参加などを通じて、国際

的な安全確保・規制の枠組みの強化を推進してきた。現在、国際的に合意されているIAEAの原子力安全に関する基本原則は、「安全に関する第一義的な責任は事業者」、「政府は独立した規制機関を含む法的フレームワークを整備」、「人及び環境を放射線のリスクから防護するために多層防護の考え方をとること（シビアアクシデントへの対策、防災対策等を含む）」などとなっており、この原則の下、各種の安全要件・基準などが国際的に合意されたものとして整備されてきた。我が国はこれらの国際的な基本原則、安全要件・基準などを、国内枠組み・規制等に反映・取り込むことが十分にできなかった。その要因・問題等は、昨年3月の東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所事故後に行われた国会による事故調査委員会、政府による事故調査委員会などの報告書に示されている。すなわち、我が国においては、シビアアクシデント対策及び防災対策等の対策が、事業者である東京電力、及び安全規制を行う政府とも不十分であったために、事故の拡大の防止・緩和ができず、原子炉建屋の水素爆発、環境への放射性物質の大量放出など、重大な事態を引き起こしたものとされている。

一方、世界的なレベルで今後の原子力発電の見通しを見ると、福島事故後の2011年9月に国際原子力機関（IAEA）が発行した推計資料によれば、2030年までに世界の原子力発電所の設備容量は30-100%増加する（100万kW級）の帰趨換算で、130-370基年間7-20基増設）東アジア、東欧、中東・南アジア等で大きな伸びが予想される」としている。

原子力発電所の事故は、国境を越えて重大な影響を及ぼす可能性を秘めているものであり、近隣諸国を含む世界各国が原子力発電所の建設・利用を継続・拡大する中では、核不拡散及びテロの防止安全確保はグローバルな国際的な課題であると認識。我が国は、福島事故後の対策・復旧等を適切に行いつつ、事故の教訓などを自らの原子力施設の安全対策・向上安全規制の見直しに反映していくとともに、国際機関等を通じてそれらを発信し、グローバルな課題対応に貢献していくことが必要と思えます。

**おわりに**

原子力発電所等の事故は、国境を越えて重大な影響を及ぼす可能性を秘めているものであり、近隣諸国を含む世界各国が原子力発電所の建設・利用を継続・拡大する中では、核不拡散及びテロの防止安全確保はグローバルな国際的な課題であると認識。我が国は、福島事故後の対策・復旧等を適切に行いつつ、事故の教訓などを自らの原子力施設の安全対策・向上安全規制の見直しに反映していくとともに、国際機関等を通じてそれらを発信し、グローバルな課題対応に貢献していくことが必要と思えます。



ご静聴ありがとうございました。

**12月20日（木）例会の案内**

例会変更  
同日 18時より受付  
家族忘年会  
於 名古屋東急ホテル

**12月27日（木）例会変更 同日**

みそか例会  
\* 10時～15時の間に事務局まで商品を取りに来てください。



\* 品物は預かることができませぬ。15時までには必ず受け取りに来てください。

**G事務所・Gエレクトロ事務所・G事務所分室 冬期休暇**

12月28日（金）～1月4日（金）  
事務局長冬期休暇

12月28日（金）～1月4日（金）  
休会（年賀休日）

**1月3日（木）例会の案内**

**広報委員会**

近藤宏一郎・林 富徳  
杉浦 令淑・青木 靖高  
\* 本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。